



図書館だより

宇都宮市立陽北中学校

令和7年11月号



澄み切った秋空が心地よく、読書に最適な季節となりました。秋の夜長、暖かくしてゆっくり読書はいかがですか。先生方のおすすめ本を今月も紹介します。図書館に展示してありますので、ぜひ手に取ってみてください。

学級文庫を利用してください

本を読みたい時にすぐに手に取れるよう、各クラスの図書委員さんが学級文庫を教室に設置してくれています。9類(文学)の本15冊、科学や歴史など文学以外の本5冊の計20冊です。朝の活動や休み時間にぜひ利用してください。

「学級文庫を新しくしたい」というときは、図書委員さんを中心にいつでも入れ替えをしてもらって大丈夫です。ぜひみなさんも図書委員さんをお手伝いして、一緒に学級文庫を選んでみてください。

【お願い】

学級文庫の本が行方不明になるクラスが増えています。

- ・学級文庫の本は教室内で読み、家には持ち帰らないでください。
- ・読んでいない時は自分の机やロッカーには入れず、箱の中に戻してください。

※学級文庫に入っている本を自分の本として借りることもできます。その場合は、「陽北 library」からフォームで申請してください。



12/2(火) 12/4(木) お話給食



12/8～12/25 は冬の読書週間です。みなさんに楽しんでもらえるよう、図書委員さんたちが頑張ってイベントを準備してくれています。そして、12月の一週目は「お話給食」！今回のテーマは、このふたつのお話です。どんなお料理なのでしょう。給食の時間が楽しみです。陽北中の蔵書にはない本もありますが、お話給食の実施に合わせて市の図書館から、本をお借りして「お話給食コーナー」を設置予定です。休み時間に、ぜひ読みに来てくださいね。

12/2(火)

『ぐりとぐらのかいすいよく』

『ぐりとぐらとくるりくら』

『ぐりとぐらとすみれちゃん』

なかがわりえこ 作

やまわきゆりこ 絵

福音館書店

ピクニックピラフ

ぐりとぐらサラダ チキンポトフ

かぼちゃプリン 牛乳

なかよしのねずみ、ぐりとぐらのおはなし



12/4(木)

『給食委員はアイドル』

小松原 宏子 作

ほるぷ出版

ご飯 みそ汁 牛乳

チキン南蛮 おひたし

豆乳デザート

モデルとして活躍するルミは、給食が大好き。ところが、ある日転校生がやってきて…





先生方のおすすめ本を紹介します! Part2



陽北中の先生方がみなさんのために本を紹介してくれました。蔵書にある本は図書館にて展示中! ぜひ手に取って読んでみてくださいね。東西通路の掲示や「陽北 library」でも紹介文を見ることができます。

加藤愛未先生 『語学の天才まで一億光年』高野秀行/著 集英社インターナショナル

「誰も行かないところへ行き、誰もやらないことをし、誰も書かない本を書く」がポリシーのノンフィクション作家。TBS「クレイジージャーニー」に出演されていて、とりあえず英語だけ続けてきて、教えている、「なんか面白いことないかな」が口癖の私からしたら、現地の人とお酒飲みながら言語習得しちゃう彼(還暦近いおじさん)の姿にとにかく衝撃を受けたのです。彼は言語習得を「RPGの魔法の剣」と呼んでいます。

テストで良い点を取ることが語学じゃないの。言葉が持つ背景やそれを話す人に寄り添えるのも語学の力。それは剣以上の意味がある。英語を学習したことは絶対無駄にならないよ(もちろん)。本来、勉強って楽しくて美しい。それでいてもっとワクワクする世界へみんなをつなげてくれるものだと思っています。

そういう意味でみんなこれから。いろんなものと出会うのです。

ようこそクレイジーの入口へ。

横山朋子先生 『100万回生きたねこ』佐野洋子/著 講談社

100万回生き返って人生を繰り返した猫の絵本です。30年くらい前に、誕生日にいただいた本なのですが、読む時々によって、心に感じるものが変わってきました。初めて読んだときは、こう思ったけど、今は…みたいな。自分の心の成長?を感じるができる本って素敵だなと思います。



宇賀神智之先生 『稲葉バレーの心』稲葉正文/著 日本文化出版



「教育としてのバレーボール指導」を行ってきた方の自伝的本です。

私の尊敬するバレーボール指導者の方からいただき折にふれ読み直しております。

原崇先生 『オッペンハイマー 上 異才』

カイ・バード&マーティン・J・シャーウィン/著 早川書房

この本は、天才物理学者ロバート・オッペンハイマーの物語です。彼は第二次世界大戦中、原爆開発の最高責任者でした。

彼の並外れた才能は、人類史上最も破壊的な兵器を生み出しました。なぜ彼はこのプロジェクトを率いたのか。そして、その後の人生で彼がその結果にどう向き合ったのか。この本を通じて、科学と倫理についてじっくりを考えてみませんか。

諏訪ななみ先生 『影法師』百田尚樹/著 講談社

この本は、江戸時代の武士である勘一と彦四郎という二人の男の友情を描いた物語です。異例の出世を遂げた勘一はのちに彦四郎が不遇の一生を遂げたことを知り、その経緯を勘一の回想とともにひも解いていきます。

人生における友との出会いの素晴らしさとは、「影法師」とは一体どういった意味が込められているのか、ぜひ読んでみてください。

